

長久手市行政評価票

事業番号	122	事業の名称	消防団関係事務	担当部署	部	課
					消防本部	総務課

事業の目的・概要	(目的) 消防団員の確保、育成及び組織の充実強化を図り、地域の防災力を確保する。 (概要) 消防団員としての知識・技術の習得による個人能力の向上を図ることにより、組織の充実強化に繋げ、災害発生時の被害軽減を図る。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	他市町のほとんどが同様の事業を実施している。
----------	---	------------------------------------	------------------------

事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度	-	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価の見方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td>現行どおり実施</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>事業の改善</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>他事業と統合</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>運営主体の見直し</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>事業の廃止の検討</td> </tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し	E	事業の廃止の検討
評価の見方																								
A	現行どおり実施																							
B	事業の改善																							
C	他事業と統合																							
D	運営主体の見直し																							
E	事業の廃止の検討																							
事業の対象 (だれ、何に対して)	市民・消防団員				うち	一般財源	3,028	2,950	3,078	3,392	6,466													
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	団員の育成及び組織の活性化を図り、地域防災の中核として活動できるようにする。					国費・県費																		
						地方債																		
						受益者負担額																		

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価					
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明			
		H24目標値		H24目標値	H24目標値				H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	H24目標値	成果 事業費				
① 消防団員教育訓練事業	消防団員	[進捗表]				警防技術の向上を図り、大規模災害時の対応技術対を習得させ、地域の安全を確保する。	定期訓練、操法訓練、水防訓練、幹部研修会、署・団合同訓練等の実施	年間の訓練実施回数	177	193	180	回	昨年度の実施回数を 目安に下回らないよう に実施する	1,665	1,623	1,665	1,843	3,556	A	現行どおり実施していく。 訓練回数、参加人員ともに増加し、警防技術の向上に繋がった。 (消防団条例の改正により、手当の単価が増額となるため、事業費が増加となる。)
② 消防団員防火啓発事業	市民	[進捗表]				火災予防及び初期消火技術の向上を図り、地域の防災力を強化する。	防火点検、防火広報、各種訓練会場での啓発事業の実施	年間の啓発事業実施回数	175	169	180	回	昨年度の実施回数を 目安に下回らないよう に実施する	1,181	1,150	1,181	1,307	2,522	B	昨年度実施回数を下回ったので、事業の開始時期等を検討する必要がある。 防火点検は年間計画を立て実施していく。 (消防団条例の改正により、手当の単価が増額となるため、事業費が増加となる。)
③ 消防団員入団促進事業	市民	[進捗表]				団員が不足している現状を理解してもらうとともに、消防団の役割及び必要性について理解してもらう。	入団促進事業の実施(出初式、市民祭り、防災訓練、防災フェスタ等にての勧誘を実施)	年間の入団促進事業実施回数	14	18	15	回	昨年度の実施回数を 目安に下回らないよう に実施する	182	177	182	201	388	B	団員を確保する前提として、団の業務範囲及び団員総数の検証が必要となる。 (消防団条例の改正により、手当の単価が増額となるため、事業費が増加となる。)
④ 長久手市消防団応援事業	市民	[進捗表]				市民に消防団をアピールし、認知度を高めつつ、団員確保に繋げ、結果として消防団の活性化を図る。	登録済み応援事業所数 29事業所	応援事業所登録数	-	29.0	50.0	事業所	長久手市商工会員で 市内の事業所数の10パーセント	-	-	50	41	-	B	他事業でも、ポスター掲示、リーフレットを配布しており、併せて応援事業所の登録を呼びかけ、事業を統合することで消防団員の入団促進を図る。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	② 消防団員防火啓発事業	昨年の実施数よりも僅かながら実施回数が減少(女性団員の防火点検数の減少)したので、年間計画を立て、開始時期を早める必要がある。		
③ 消防団員入団促進事業	団の業務範囲は、非常に多岐にわたることから、地域の特性を踏まえ活動内容を整理し、業務計画を策定するとともに、大規模災害時を想定した対応力、動員数から必要な消防団員数を検証する。	H25以降新規に実施する事務事業		
④ 長久手市消防団応援事業	他事業でも、ポスター掲示、リーフレットを配布しており、また、活動新聞などで応援事業所の登録を呼びかけ、事業を統合することで消防団員の入団促進を図る。			